

多根クリニック

2025 年度 年報

目次

施設概要.....	2
◆診療部.....	3
◆看護部.....	4
◆医療技術部 検査科.....	6
◆医療技術部 放射線科	8
◆事務部.....	10
◆保健指導室.....	11

施設概要

【所在地】

(施設全景写真)を添付します。

〒550-0007 大阪市港区弁天1丁目2番2-600号
大阪バイタワースト6階

TEL:06-6577-1881 FAX:06-6577-1771

アクセス

電車 JR 環状線弁天町駅

または大阪メトロ中央線弁天町駅下車徒歩5分



【施設概要】

病 院 長	門脇 隆俊
開 設 日	1993年(平成5年)5月
病 床 数	人間ドック(1日・半日)、脳ドック、肺がんドック、心臓ドック
土地・建物(㎡)	延床面積 1,254.00 ㎡
指定・認定関係	日本病院会 人間ドック学会 健診施設機能評価優良施設指定 日本総合健診医学会優良総合健診施設認定 日本病院会人間ドック指定医 脳ドック学会認定施設
基 準 関 係	
第 三 者 評 価	

(2026年03月現在)

◆診療部

【部 署 概 要】

KHS 内で予防医療(人間ドック、成人病健診、定期健康診断)に関する診療を行っている施設です。当クリニックは人間ドック学会優良認定施設、総合健診学会優良認定施設、脳ドック学会認定施設、人間ドック健診専門医研修施設、マンモグラフィ検診認定施設を取得した施設である。常勤医師は4名(院長:門脇 隆敏 副院長:堺 栄子、顧問 山田 毅 医師:國重 一郎)と非常勤医師に応援を依頼し診療を行っている。診療内容は診察・結果説明(面談)・読影・紹介状作成等を行っている。当クリニックでは年間22,400名が受診しており様々な疾病が発見されている。発見された疾病に対し受診者様が病院へ受診を希望する際は、希望する病院様へ紹介している。また医師面談以外に管理栄養士、保健師による特定保健指導や一般の保健指導も行っている。

【診 療・体 制】

診療は毎週月曜日～金曜日の午前・午後、土曜日の午前で行っている(※年3～5回祝日営業あり)内科診察・婦人科診察・結果説明(面談)や各X線検査の読影も行っている。受診結果の質問対応(電話)や後日説明も行い紹介状も年間1,800通作成している。

【診療内容】

人間ドック(一泊・半日)、専門ドック(脳・心臓)、成人病健診、定期健康診断、特殊健康診断など

オプション検査(頭部MRI検査、CT検査、上部消化管内視鏡検査、心臓超音波検査、
頸部超音波検査、ABC検診、ABI・PWV検査等)
※MRI検査、CT検査、上部消化管内視鏡検査、血液検査は多根総合病院に依頼。

【特 色・トピックス】

当クリニックはJR環状線弁天町駅、大阪メトロ(中央線)弁天町駅より徒歩5分圏内にあります。両駅とも直結の連絡通路がありますので、荒天の日であっても影響を受けず来院が可能です。当クリニックは受診者様に対して質の高い健診・サービスを提供しております。また、定期的に受診者様へアンケートも実施しており良好な評価をいただいております。

【診 療・部署実績】

各種健康診断と過去5年間の受診者数一覧

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1泊ドック	160名	150名	144名	121名	109名
半日ドック	11,160名	11,020名	10,910名	10,111名	10,373名
一般健診	9,000名	9,400名	9,910名	12,672名	10,355名
巡回健診	28,300名	29,000名	30,000名	30,050名	27,900名
合 計	48,620名	49,570名	50,964名	52,954名	48,737名

◆看護部

【部 署 概 要】

多根クリニックにおける看護師・保健師は「問診での丁寧な動機付け」「適切なオプション提案」、「保健師による手厚い特定保健指導」、「未受診を作らない受診勧奨」を強みとして受診者様の生涯にわたる健康を支える役割を担っている。問診(医療面接)では、単に質問票をチェックするだけでなく、受診者様自身が日頃の生活習慣を振り返るきっかけとなるような対話を意識している。また問診から得られたリスクに基づき受診者様に最適なオプション検査を提案し早期発見機会を広げている。特定保健指導では、検査結果に基づき、受診者様が無理なく実践できる具体的な目標(食事・運動)を共に設定し、行動変容を促す指導を心がけている。継続的なフォローアップに注力し、支援期間中はメールや面談、電話等を通じて進捗を確認し、受診者様のモチベーションを維持・向上させる働きかけを目指している。

【診 療・体 制】

【人員】

看護師(管理職 1 名、常勤 6 名、非常勤 1 名) 保健師 1 名 クラーク(事務員)2 名

【主な業務内容】

看護師:採血(巡回健診)、問診(医療面接)および健診内容の相談、
診察介助(内科・乳房触診・婦人科)、各医療機関への紹介状作成、
胃カメラ・MRI・CT 検査等の問診票の確認、受診者の体調管理、健康保持増進の啓発

保健師:特定保健指導、生活習慣病リスク者への保健指導(フォローアップ)、
受診勧奨、健康保持増進の啓発

【特 色・トピックス】

1. 受診者の待ち時間を最小限に抑える取り組み: 受診予約枠の導入動線の工夫と効率的な案内提示
2. ホームページ推進プロジェクト: ホームページ全面リニューアル
3. 業務効率化、生産性向上への取り組み(業務改善):
 - ① 医師面談・診察介助を 2 名から 1 名へ、クラークへタスクシフト
 - ② 事務業務をクラークへタスクシフト
 - ③ 検査技師との採血業務のタスクシェア
4. 巡回健診への応援強化: 採血業務の導入
5. 法人内バイトの導入: 巡回バス胸部レントゲン・心電図、施設内採血)
6. 人間ドック健診情報管理士ブラッシュアップ認定研修受講(1 名): 河村安栄
7. 日本肥満学会肥満症サマーセミナーオンライン受講(1 名): 河村安栄
8. ピンクリボンアドバイザー初級資格取得(1 名): 岩木千夏
9. 第 54 回日本総合健診医学会オンデマンド配信受講(4 名):
河村安栄、林 美智子、田中紀子、富永ルミ子
10. 第 66 回人間ドック・予防医学学会参加(3 名): 河村安栄、田中紀子、富永ルミ子
11. 第 19 回 JSSSA 学術総会セッション座長、第 13 回 JSSSA 認定 DSC 講習会講師: 富永ルミ子
12. 大阪府看護協会 令和 6 年度代議員就任(2024. 6～2025. 6): 富永ルミ子
13. 第 23 回大阪病院学会実行小委員会: 富永ルミ子
14. 人間ドック健診情報管理指導士(人間ドックアドバイザー)認定研修受講 1 名

【診 療・部署実績】

- 1.看護部目標管理
中間評価(10 月)、最終評価(3 月)
- 2.人材育成
研修への参加および関連資格の取得・更新
- 3.医療安全・感染対策
医療安全研修・感染対策研修・インシデント・ヒヤリハット事例の RCA 分析
4. クリニック全体研修企画運営

◆医療技術部 検査科

【部 署 概 要】

業務内容

生理検査：身体計測、視力、肺活量、聴力、眼底、眼圧、心電図、負荷心電図、
超音波（腹部、乳房、心臓、頸部）、ABI・PWV 検査、採血：採血および血圧測定を行っています。
検体検査（生化学検査、血球数検査、免疫検査、感染症、尿検査、便検査）を総合病院中央検査部に委託（アレルギー検査、病理検査など一部外注）しています。
中央検査部システム（A&T）上で検査依頼、検査結果の受信を行い検体はバイク便（9 便/日）で中央検査部に搬送しています。

【診 療・体 制】

検査技師：16 名（常勤 11 名 非常勤 5 名）超音波検査士（消化器 6 名 泌尿器 1 名 健診 2 名）
二級臨床検査士（循環生理学 1 名）心電図検定（2 級 1 名 3 級 3 名）今年度より業務拡大の一環として採血業務にも従事しています。

【特 色・トピックス】

採血・搬送業務：採血業務の間に搬送準備を行い 30 分毎に総合へ検体を搬送しています。
短時間でお客様に結果説明ができるよう中央検査部と連携して搬送準備、データ確認を実施。
生理検査業務：スタッフは全て女性技師で女性受診者様にも安心して受診いただけるよう
細やかな接客を心掛けています。また超音波検査士や認定技師の資格取得を積極的に行い、
専門性、技術の向上に努めています。
学習の取り組み：部署内での勉強会を定期的に（1/2 ヶ月）開催し中央検査検討会、
乳腺症例検討会（総合病院 西先生指導）や外部勉強会（1/1 ヶ月 Web 配信、e-ランニング）にも
積極的に参加しています。また業務拡大に向けてタスクシフトシェア研修会にも参加しています。
他部署との連携：2025 年度は巡回への応援業務（54 日）総合病院中央検査部からクリニックへの
業務応援（超音波検査 2 日、採血 6 日）、総合病院からクリニックでの超音波研修（5 日）があり、
相互の連携を強化しています。
精度管理調査の参加：腹部超音波検査精度管理（人間ドック学会/全国労働衛生団体連合会）
「B 評価」、心電図精度管理総合健診学会「良好評価」、日本臨床検査学会精度管理（生理検査）に参加
して超音波検査手技や心電図判読の精度管理を行っています。
顧客満足向上への取り組み：アンケート結果を基にお客様の検査環境の改善に努めています。
また定期的な待ち時間調査を行い、検査内での待ち時間を把握し改善に努めています。
精査率向上の取り組み：フォローアップ委員会の活動としてお客様へ書類送付で受診勧奨を行い、返
信によって把握をする事で精査率 UP を目指しています。

【診 療・部署実績】

オプション検査実績

計測・視力・聴力(21,955 件) 心電図(21,041 件) 眼底・眼圧(12,226 件)

腹部超音波(12,351 件) 乳房超音波(2,554 件) 心臓超音波(270 件)

頸部超音波(144 件) ABI・PWV(260 件) 負荷心電図(140 件)

◆医療技術部 放射線科

【部 署 概 要】

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 半日ドック | …月曜日～土曜日の午前(胸部・胃部) |
| アフタヌンドック | …月曜日～金曜日の午後(胸部・胃部) |
| レディースドック | …毎月第4土曜日の午前(胸部・胃部・マンモグラフィ) |
| 2. 一泊二日ドック | …月曜日～金曜日の午後(胸部・胃部) |
| 3. 定期健診コース | …月曜日～金曜日午後14:30～(胸部・胃部) |
| 4. その他オプション検査 | …(マンモグラフィ・骨塩定量) |
| 5. 一般健診、成人病検診、他医依頼検査 | (胸部・胃部など) |
| 6. 巡回検診業務 | …月曜日～土曜日(胸部・胃部) |

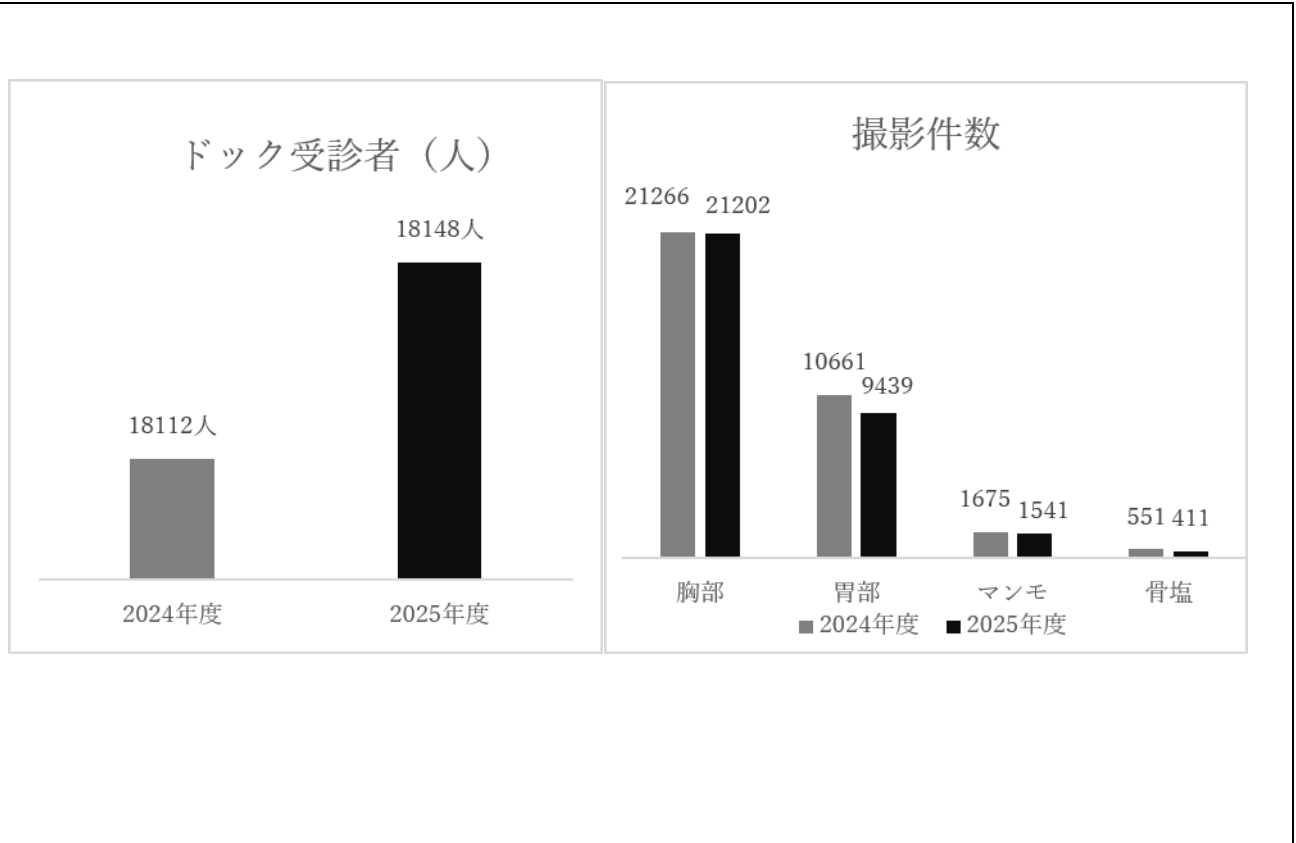
【診 療・体 制】

人間ドック受診者を中心に、常勤技師5名で放射線業務を行っている。
 胃がん検診専門技師3名「撮影技術と読影力」を兼ね備えた上位資格である。
 胃がん検診読影補助認定技師は2名在籍し、胃がん検診の精度向上を図っている。
 乳がん検診はマンモグラフィ認定技師2名が安全で高精度な検査で選ばれる施設を目指している。
 読影体制は、遠隔読影システムを関西では先駆けて導入し14年目を迎え本邦でも有名な専門医による高精度、高信頼な診断を受診者に提供できる環境にあり今後さらに有用性を発信し受診者の信頼を得ていく。

【特 色・トピックス】

胃がんは減少傾向にあるが、最新の全国がん登録2023年では男女ともに罹患率の4位に入る疾患であり1983年に発見されたヘリコバクター・ピロリ菌(Hp)は胃がん発生に関与しており、除菌治療で予防が可能である。しかし、除菌後も発がんリスクは残り定期的な検診が必要である。またHp陰性、除菌後時代において胃がんの発生背景が多様に変化している状態である。
 令和8年6月の消化器がん検診学会の全国集計(2023年度)でと胃がん検診の受診者数は胃X線検診459万人(発見率0.053%)、内視鏡検診70万(発見率0.151%)である。
 また胃X線検診の早期がん比率は79%である。効率性と安全性の観点からX線検診は重要である。受診者様への丁寧な対応と適切な副反応管理、質の高い画像撮影技術が求められる。
 受診後のアンケートで放射線技師に対するCS調査では85.4%受診者から好評価を頂いている。今年度も全国労働衛生団体連合会による、胃X線検査の撮影・読影技術及び精度管理の実施状況を評価、指導を受け胸部X線検査に関しても日本総合健診医学会の精度管理で良好であった。
 今後も継続して信頼性の高い優良施設を目指していく。
 乳がん検診においては件数も1541件でアンケートでも好評を得ている。
 また、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構が評価する施設認定を継続し、質の高いマンモグラフィ検診を提供できる施設として認められている。

【診 療・部署実績】



◆事務部

【部 署 概 要】

・事務業務全般
 →予約受付、受付業務、請求業務、結果報告書作成業務、案内・結果発送業務、システム管理
 ・渉外活動
 →健康保険組合・企業契約、地域貢献活動、PR 活動・企画による販促活動・新規顧客獲得活動
 ・その他
 →施設営繕管理や施設内総務経理業務

【診 療・体 制】

・施設部と巡回部に分かれ各業務を行っている(施設:常勤 15 名 非常勤 1 名 巡回:常勤 7 名)
 →事務部以外でも不足スタッフのヘルプや人員配置を定期的に転換している。
 ・事務(受付業務・予約受付業務・結果報告書作成業務・システム管理など)
 →巡回健診には部門を問わず人員を最大限に活用しており組織向上を目指している。

【特 色・トピックス】

1.各種会議(委員会)の実施継続 → 更なる組織向上
 2.新規開拓による売上・利益の増収 → 対外的活動・オプション推進活動実施
 3.KHS 連携会議 → 他施設との連携強化

【診 療・部署実績】

【2024 年度実績】

一泊ドック	109名
半日ドック	10,373名
成人病健診	5,893名
定期健診	4,119名
特定健診	343名

【2025 年度実績】

一泊ドック	100名
半日ドック	10,312名
成人病健診	6,034名
定期健診	5,655名
特定健診	310名

◆保健指導室

【部 署 概 要】

健診・人間ドック受診者様に対する保健指導業務を担当。
生活習慣病の発症予防及び重症化予防を目的とした支援を実施している。
特定健康診査後の特定保健指導(動機付け支援・積極的支援)を実施して対象者の生活習慣や健康課題に応じた継続的支援を行っている。
また健診結果に基づくフォローアップ支援を実施して生活習慣の改善や医療機関受診に繋がるよう支援体制の充実に努めている。
協会健保から受託している尿蛋白陽性者の受診勧奨業務においては受診日に対面で受診勧奨を行い重症化予防および受診率向上に取り組んでいる。

【診 療・体 制】

【部署体制】

保健師:1名(人間ドック健診情報管理指導士)
管理栄養士:2名

【役割】

1. 特定保健指導
3ヶ月で体重2kg 減腹囲2cm減を目標に個々のライフスタイルに合わせた行動目標を立案
その後3～6か月の継続的な支援をメールや手紙や電話にて定期的にフォローする
当日実施:人間ドック・健診受診日当日に保健指導を実施
後日実施:人間ドック・健診受診後後日予約にて保健指導を実施
2. フォローアップ・受診勧奨業務
人間ドック受診者様のうち血圧・脂質・血糖でC3判定(3か月後再検査が必要)の方を対象に当日保健指導を実施している。

【特 色・トピックス】

1. 特定保健指導実施率および終了率向上に向けて各健康保険組合との連携
→特定保健指導の契約数が27健保に増加
2. 巡回健診の契約企業・健康保険組合に対する事業所訪問
→特定保健指導100%実施
3. 多根総合病院との連携強化
→迅速な血液検査結果報告による当日保健指導の実施
・総合病院での胃カメラ後採血の100%実施
・特定保健指導の実施率上昇
4. 特定保健指導の品質向上
→初回面談の担当者の継続的支援による積極的支援修了率は上昇している。
1日1回スタッフミーティング(ケーススタディー)の導入
5. フォローアップ受診勧奨の強化

→4 ヶ月後に再検査受診状況のアンケート調査

生活習慣の改善率 97%の方が実施(回収率 28%)

6. 協会健保より実績報酬(一定の条件を満たす受託機関に対しての報奨金)

→2025 年度の特定保健指導実施者数が 2024 年度より 374 名上回った。

7. ミールタイム栄養士スキルアップセミナー参加(2025. 6.4/6.14)

→森川美都季、柿本鈴夏

8. 第 22 回日本肥満学会 肥満症サマーセミナー参加(2025.8.12)

→河村安栄

9. 令和 7 年度大阪府特定保健指導実施者育成研修会基礎コース参加(2025.8.27)

→河村安栄、森川美都季、柿本鈴夏

10.協会けんぽ大阪令和 7 年度特定保健指導実施機関研修会参加(2025.12.5)

→森川美都季、柿本鈴夏

11.人間ドック情報管理指導士(人間ドックアドバイザー)ブラッシュアップ研修参加

→河村安栄

12.循環器予防 e ラーニング、沢井製薬 Web セミナー参加

→森川美都季、柿本鈴夏

【診 療・部署実績】

1.特定保健指導

2025 年度初回面談者:1026 人(積極的支援 474 人+動機づけ支援 552 人)

積極的支援修了率(2024.8~2025.7)75%

	施設:	多根クリニック	部署:	医局
役職・氏名	資格			
院長 門脇 隆敏	大阪大学医学博士/外科学会専門医			
院長 堺 栄子	日本医師会認定産業医			
顧問 山田 毅	大阪大学医学博士/人間ドック健診指導医/人間ドック健診専門医/ 人間ドック認定医/人間ドック健診情報管理指導士/ マンモグラフィ読影資格医/日本医師会認定産業医			
	施設:	多根クリニック	部署:	検査科
資格				人数
超音波検査士(消化器)				4 名
超音波検査士(泌尿器)				1 名
超音波検査士(健診)				1 名
2 級臨床検査士(循環器)				1 名
ピンクリボンアドバイザー(中級)				1 名
	施設:	多根クリニック	部署:	放射線科
資格				人数
胃がん検診専門技師				2 名
胃 X 線検診読影補助認定技師				2 名
胃がん X 線検診技術部門 B 資格認定				1 名
検診マンモグラフィ撮影認定技師				1 名
検診マンモグラフィ精度管理認定技師				1 名
デジタルマンモグラフィ品質管理				1 名
総合健診指導士				1 名
	施設:	多根クリニック	部署:	看護部
資格				人数
認定看護管理者				1 名
医療安全管理者				2 名
ピンクリボンアドバイザー(初級)				1 名
ピンクリボンアドバイザー(中級)				2 名
	施設:	多根クリニック	部署:	保健指導室
資格				人数
第一種衛生管理者				1 名
人間ドック健診情報管理指導士				1 名

社会医療法法人 きつこう会